

答 辞

心地よい春の暖かな風が吹き、まるで私たちの旅立ちを祝福してくれているかのようです。本日、私たち九十八名は、この日向中学校での生活と、九年間の義務教育の課程に終止符を打つことになりました。このような状況の中でも、卒業式を挙行していただき、心から感謝しています。

思い起こせば三年前、真新しい制服に身を包み、新しい環境に期待と不安で迎えた入学式。先輩方が歌う校歌、高音と低音の奏でるハーモニーに感動したことを覚えていません。あの日から三年の月日が経っているのですね。私たちの三年間は、とても短いものでしたが、かけがえのない思い出を残すことができました。

「全身全霊く勝つために戦い続けることを誓う」をスローガンに行われた中学最後の体育大会。最初の頃はあまり声が出ず、本番が心配されました。しかし、実行委員長や団長、副団長やリーダーが一生懸命全校生徒を引っ張ってくれました。迎えた本番、どの競技も熱い戦いが繰り広げられました。すがすがしい笑顔、輝く汗、迫力ある応援、勝敗を超え、ともに頑張りや喜びを分かち合う姿、どの光景も一枚の写真のように私たちに鮮明に焼き付けられました。

清らかな歌声一色に染まった合唱コンクール。どの学級も一人一人の歌声が見事に調和し、心を一つにすることができました。そして、展示された一年生からのメッセージ「日向中大好き 三年生受験頑張ってください」の巨大な作品が、私たちに受験に対する強い意志を抱かせてくれました。全校生徒が一つになり、達成感と伝統の一ページを刻むことができました喜びを感じた緑風祭でした。

数々の行事を経験する中で、団結することの大切さや皆の力の大きさを感じました。時には対立し、傷つけ合うこともありましたが、そのような一つ一つの経験が、私たちの成長の糧となり、次への一步を踏み出すきっかけとなりました。

私たちの毎日に寄り添い、ご指導くださった先生方。聞き分けが悪くわがままだった私たちに、優しく手を差し伸べてくださいました。メリハリがついていないときは厳しく叱ってくださいました。相談に乗ってくださいだったりアドバイスをいただいたりしたことが、私たちを強くしてくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

在校生の皆さん。学校行事や部活動などでたくさん会話を交わし、一緒に笑いました。時には支えてもらうこともありましたが、これからの日向中をより魅力ある、より活気あふれる、より愛される学校に創り上げてください。卒業生一同、心より応援しています。

そして、お父さん、お母さん。思春期という難しい年頃の私たちを、ここまで育て、大きな愛情で包んでくださってありがとうございました。私たちが思っかけてくれたであろう言葉も心に届かず、反抗したこともありましたが、私たちが思っかけてくれたであろう所であり安心感のある場所であり、私たちの力の源です。これからも迷惑をかけることがあると思いますが、温かく見守ってください。

最後になりましたが、卒業生の皆さん。うれしいとき、悲しいとき、いつも隣りで同じ時を過ごしたのは、ここにいる九十八名の仲間でした。行事の準備や片付けに力を抜かない集団、負けず嫌いな集団、毎日教室には笑顔の花が咲き誇りました。このかけがえのない仲間との思い出は一生の宝物です。

さあ、旅立ちの時です。私たちはこれからそれぞれの道へ進み、それぞれの希望の坂道を登っていくことでしょう。不安もあります。しかし、この日向中学校で学び、過ごした日々を信じて邁進すれば大丈夫です。名残は尽きませんが、これからの輝く未来を私たちの手で築き上げることを誓い、答辞と致します。